

島高思いやり宣言

私たち島原高校生徒会は、今年も思いやりとは何かを考えるにあたり、全校生徒にあなたが思う・経験した思いやりの行動についてアンケートをとりました。

皆さんからの回答に多く見られたものとして、「自分が落ち込んでいる時励ましてくれた」、「失敗したとき、笑顔で大丈夫だよとってくれた」など「思いやり」が言葉で伝えられたものや、「休んだ日の板書をうつしてしてくれたこと」など行動で表されたものがありました。また、「毎朝お弁当を作ってくれる」、「服を畳んでくれていた」など家族に関する心温まるものもありました。

そもそも「思いやり」とは何でしょう。ただでさえ忙しい日々…。普段はそこまで深く考えたことがなかったのではないのでしょうか。思いやりとは相手のことを慮った行動や言動をするものです。今回、アンケートに答えるにあたり、自分自身の行動や他人のことを振り返ったと思います。その瞬間、皆さんの心は温まったのではないのでしょうか。「思いやり」とは時が過ぎても色あせることはありません。それは皆さんが日頃から、友人や家族などの多くの人々と思いやり合いながら過ごしている証だと思います。

近年、報道されているような殺人、自殺、虐待などの事件は、「自分さえ良ければいい」といった利己的な考えによって、引き起こされています。そのような社会状況の中で、私たちが「思いやり」を持つことにより、悲惨な出来事を防ぐだけでなく、豊かな人間性をはぐくむことにもつながるはずです。お互いを思いやることで、一人ひとりが尊重され、誰もが誇りや自信を持てるようになるでしょう。

**長崎っ子の心を見つめる教育週間にあたり、私たちはここに、
生徒一人ひとりが「本当の思いやりとは何か」を改めて考え、
行動に移していくことを宣言します。**

平成27年6月24日

長崎県立島原高等学校生徒会